



東京都立野津田高等学校

普通科・福祉科・体育科全日制課程

令和6年度 グランドデザイン
Grand Design

教育目標：educational goal

- 「未見の我」の発見に努め、未来をつかむ能力と態度を養う。
- 人権尊重の精神を育成し、共同生活体としての連帯感や所属感を養う。
- 権利と義務、自由と責任との調和を図りつつ、自ら学び考え行動する能力を養う。

目指す学校：School Mission

生徒一人一人が「未見の我」を発見し、基礎学力の徹底と規範意識の醸成を図るとともに、主体性を身に付ける教育活動を通して、集団への帰属意識や多様性の理解や他者への思いやりを養育する。さらに、生徒一人一人の学びを最大限に引き出し、自らの可能性を切り拓く進路実現を勝ち取るための努力を惜しまない、社会に貢献できる人材を育成する。

求める生徒像： Admission Policy

- 入学後の明確な目的意識をもち、社会で活躍・貢献すると考える生徒
 - ・ 苦手意識があっても前向きに取り組み、粘り強く努力できるあきらめない生徒
 - ・ 自分自身の心にきちんと向き合うことができ、他人の心を受け入れることができる素直な生徒
 - ・ 高校生活のあらゆる機会を通して自らを向上させる意欲をもつ生徒
 - ・ 部活動に積極的に取り組み、努力する気持ちをもった生徒
 - ・ ボランティア活動に主体的、積極的に取り組むことのできる生徒
 - ・ 人間の幸せについて考え、自他ともに優しく思いやりのある生徒(福祉科)
 - ・ 生涯にわたってスポーツの実践者を目指し、実習や部活動に安全に積極的に取り組める生徒(体育科)

教育の方針： Curriculum Policy

- 未見の我
～なりたい自分を発見させるために～
 - ・ 基礎学力の徹底と生徒が参加する「分かる授業・考える授業」を展開
 - ・ スモールステップによる達成感と自学・自走の意識を伝授
 - ・ 3年間の組織的・計画的なキャリア教育を通し、主体的な進路実現を支援
 - ・ 生徒の発表の場を創出し、協働の喜びや帰属意識を育成
 - ・ 特別活動を通し、他者との関わりをもたせ、基本的生活習慣や成功体験の反復
 - ・ 地域貢献活動を通し、規範意識・社会的自立や多様性尊重の精神を醸成
 - ・ 着実な介護福祉士資格取得の科目の充実(福祉科)
 - ・ スポーツに関する知識と技術の進化・深化(体育科)

卒業までに身につける力： Graduation Policy

- 意欲的な進路実現を実現させる基礎学力と社会人としての規範意識と社会的自立の基盤となる資質・能力
 - ・ 前に踏み出す力：責任感や自主性を身に付け、他者と協働しながら主体的に一步前に踏み出し、失敗しても粘り強く取り組む力
 - 主体性・働きかけ力・実行力
 - ・ 考え抜く力：疑問を持ち、考え抜く力
 - 課題発見力・計画力・創造力
 - ・ チームで働く力：個人を尊重した上で、適切にコミュニケーションを図り、多様性を受け入れ、多様な人々とともに、目標に向けて協力する力
 - 発信力・傾聴力・柔軟力・規律性・情報把握力・ストレスコントロール力

卒業後の姿

「社会人基礎力」を身に付け、
社会に貢献する人材

育成すべき資質・能力に基づくルーブリック

※ ルーブリック：学習到達度を示す評価基準の観点と指標(尺度)

重点的に育みたい 資質・能力		評価指標		
		レベルC	レベルB	レベルA
知識・技能	学力の定着 (知識・技能)	義務教育段階の基礎学力で、苦手なものを克服しようとしている。	高校段階で学ぶ基礎・基本を理解し、身に付けている。	高校段階で学ぶ応用段階を理解し、主体的な学習に取り組み、他の生徒に影響を与えている。
	成し遂げる力 (資格・検定)	授業の中で資格・検定に挑戦しようとしている。	自分に必要な検定や目標に挑戦することができる。	将来必要な資格・検定に何度も挑戦し、複数取得している。
	健やかな体 健康づくり	基本的生活習慣を身に付けようとしている。	高校生活を充実させるための心と体を鍛えている。	社会貢献できる「心技体」を身に付けている。
思考力・判断力・表現力	思考力・判断力・表現力	共通点や相違点を整理することができる。	共通点や相違点を分析・考察することができる。	新たな自分の意見を分かりやすく表現することができる。
	課題発見力	事象の問題点に気付くことができる。	事象の目的や課題を明らかにし、解決策を模索している。	模索案から取捨選択し、解決策を立案することができる。
	創造力	これまでの事象に対し、疑問を持つことができる。	事象の疑問点を整理し、分析・検討することができる。	事象に対し、新たな創造と表現・発表をすることができる。
	計画力	事象の問題点を整理することができる。	事象の問題点を分析し、時系列に整理することができる。	計画を分かりやすく表現し、解決することができる。
学びに向かう力・人間性	主体性 (実行力)	指示を超えた工夫や取り組みをしている。	目的に対し、自ら進んで取り組むことができる。	リーダーシップやメンバーシップを発揮し、取り組める。
	協働性 (自己・他者理解)	事象に対し、自他の役割や責任を理解しようとしている。	自他の役割や責任を理解し、行動することができる。	他者と協力し、巻き込みながら自らも行動できる。
	規範意識	やってはいけない、迷惑をかけることの判断ができる。	挨拶や言葉遣い、身だしなみをTPOに合わせることができる。	主体的に行動でき、周りの人に配慮と注意ができる。